

# 公園に見られる鳥類と木の食食性 パート2

沖縄市立山内小学校  
6年 新垣李珠佳

## 1. 研究の動機

沖縄市総合運動公園ではアリーナ建設のため、昨年調査した近くの森が1カ所なくなりました。この環境の変化が昨年の調査結果と比べ、鳥類の種類・数にどのように影響を与えているかを調べることにしました。また、木の実の食食性についても研究することにしました。



## 2. 目的・予想・方法

(1) 昨年調査した場所の近くの森がアリーナ建設のためになくなったため、昨年と今年とでは、公園で見られる鳥類の種類や数に違いが見られるだろうか。また、公園のどの場所に鳥類が多くみられるだろうか。

《予想》

アリーナ建設でなくなった森から、鳥類が調査場所の公園に移動してきていると考えられるため、昨年に比べ今年が種類や数が多くみられると思う。

《調査方法》

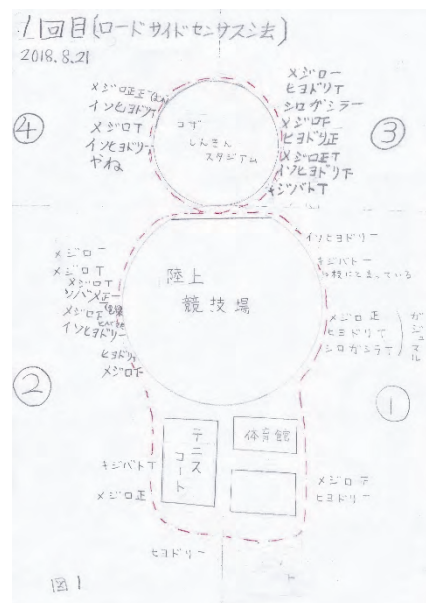
1) 沖縄市総合運動公園の2kmのジョギングコースを歩きながら、コースの左右で見られる鳥類の種類と数を調査表と分布調査地図に記録する。

(ロードサイドセンサス法)

2) 調査日は、8月21日、8月22日、8月23日、8月25日の4回行った。

『調査場所』

①陸上競技場と体育館の間 ②テニス場近く  
③球場電光掲示板側周辺 ④球場入口側周辺、以上の4ヶ所で調査を行った。



(2) 沖縄市総合運動公園には、鳥類のエサとなる実をつけている木の種類がどれくらいあり、その分布はどのようになっているのだろうか。

《予想》

実をつけている木は5種類くらいあり、草木が生い茂っている①陸上競技場と体育館の間に多く分布していると思う。

《調査方法》

2 kmのジョギングコースを歩きながら、実をつけている木の種類を調べ、調査地図に記録する。

(3) 木の実をつけていた主な4種類(ガジュマル・アコウ・アカギ・サルスベリ)には、どの種類の鳥類が何羽ぐらい来るのだろうか。また、鳥類の分布と木の実の分布とは関係があるだろうか。



ガジュマルの木



サルスベリの木

《予想》

鳥が多く来る木もあれば、少なく来る木もあると思う。鳥類の分布と木の実の分布は、木の実を食べる鳥類が多いから関係があると思う。特にガジュマルとの関係が深いと思う。

《調査方法》

4種類(ガジュマル・アコウ・アカギ・サルスベリ)の木に来る鳥類についての調査は、2 kmのジョギングコース沿いにある木から3本選びA・B・Cとし、それぞれ10分間に来た鳥、そこにいた鳥類の種類と数を2回ずつ(計6回)調べた。

(4) 去年は鳥類についてはチョウの天敵として調査した。今年は木の実を食べる鳥類について調べたため、これらの結果から、鳥類を食べ物(食性)から、分類したらどのようなになるだろうか。

《予想》食べ物(食性)から鳥類を分類することは出来ると思う。

《調査方法》

去年のチョウの天敵(鳥類)の調査結果と今年の木の実に来る鳥類の調査結果を活用して分類する。

### 3. まとめ

(1) 今年の鳥類の調査結果と昨年の調査結果から、確認できた鳥類の種類は今年が10種類で、昨年が6種類だった。そのうち共通する種類は5種類でメジロ・ヒヨドリ・イソヒヨドリ・シロガシラ・シジュウカラだった。

調査結果から、数の多い4種類（メジロ・ヒヨドリ・イソヒヨドリ・シロガシラ）を昨年の数と比較すると、4種類とも今年が多く確認できた。今年の数が多いのは、アリーナ建設で近くの森が1ヶ所なくなったために、調査場所である公園に鳥類が移動してきたからだと思われる。

また鳥類の分布では、①陸上競技場と体育館の間 114羽、②テニス場近く 72羽、③球場電光掲示板側周辺 105羽、④球場入口側周辺 37羽で①の場所で最も多く確認できた。

	8月21日				8月22日				8月24日				8月25日				合計
	①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④	
1	9	15	11	13	10	5	9	4	25	6	11	3	9	6	31	6	173
2	3	2	7		10	7	2	1	2	4	6		7	6	11	2	70
3	1	1	3	4	2	4	1			4		1	2		1	1	25
4	2		1		3				12		3		8		5		34
5													1				1
6																	0
7	1	2	2		3	1			3	2	1		1			2	18
8																	0
9		6															6
10						1											1
合計	16	26	24	17	28	18	12	5	42	16	21	4	28	12	48	11	328

4日間における鳥類の調査結果(2018年)

	8月14日				8月15日				8月24日				8月27日				合計
	①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④	
1	7	4	8	8	11	5	9	7	5	7	4	8	11	9	10	13	126
2		7	4	3		5	7	4	2	6	5	3	1	5	3	2	57
3	1	1	1	2	2	1	2	1	1		2	1	1		2	1	19
4				1	3		1	2		2	1		1	2	1	2	16
5					1		1		1			1					4
6	1																1

4日間における鳥類の調査結果(2017年)

(2) 公園で見られた木の種類は全部で17種類あり、そのうち実をつけている種類はガジュマル・アコウ・アカギ・サルスベリ・マツ・オオバイヌビア・フクギ・名称不明の木で8種類であった。①陸上競技場と体育館の間では6種類の木が確認できたが、④球場入口側周辺ではアコウが一本あるだけで最も少なかった。

(3) 4種類の木のなかで、最も実をつけていたガジュマルには、5種類全ての鳥類が観察できた。今回の調査で確認できた鳥類はメジロ・ヒヨドリ・シロガシラ・キジバト・シジュウカラで、メジロ・ヒヨドリは4種類全ての木で確認できた。

木の実を食べる鳥類は、木の実を多くつけるガジュマルの木で多く確認できたため、鳥類と木の実の分布は関係があることが分った。

	ガジュマル	サルスベリ	アコウ	アカギ	合計
メジロ	29	8	8	8	<b>53</b>
	54.7%	15.1%	15.1%	15.1%	100.0%
ヒヨドリ	17	3	8	3	<b>31</b>
	54.8%	9.7%	25.8%	9.7%	100.0%
シロガシラ	2	1			<b>3</b>
	66.7%	33.3%			100.0%
キジバト	1				<b>1</b>
	100.0%				100.0%
シジュウカラ	2		2		<b>4</b>
	50.0%		50.0%		100.0%
<b>合計</b>	<b>51</b>	<b>12</b>	<b>18</b>	<b>11</b>	<b>92</b>

(4) 食べ物から鳥類を分類すると、

- ・草食鳥類…木の実（草の実なども含む）だけを食べる

キジバト

- ・肉食鳥類…昆虫などの小動物を食べる

イソヒヨドリ、シジュウカラ、サンショウクイ、サンコウチョウ、コゲラ

- ・雑食鳥類…木の実、昆虫などの小動物どちらも食べる

メジロ、ヒヨドリ、シロガシラ

以上に分類することができた。

メジロ



メジロ

図16  
ヒヨドリ



ヒヨドリ

図15

イソヒヨドリ



イソヒヨドリ

#### 4. 感想

沖縄市総合運動公園ではアリーナ建設のため森が1ヶ所なくなったため、鳥類の種類や数に影響が出ていることが分った。野花やチョウ・鳥類が多い公園は、私達が自然に触れることができ、憩いの場所としてとても大切である。どのようにして自然を守っていきけるのかを今後も研究を続け公園の管理の仕方などについても要望などをしていきたいと思う。

#### 【出品状況】

第55回 中部地区児童・生徒科学作品展 金賞

第58回 沖縄県児童・生徒科学作品展 佳作